

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和5年11月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 ..... I - 1
- 2. 工事の実施状況 ..... I - 3
- 3. 調査結果の概要 ..... I - 4

## II 事後調査結果

- 1. 大気質 ..... II - 1
- 2. 水質 ..... II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和5年11月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	11月1日~30日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m	11月21日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

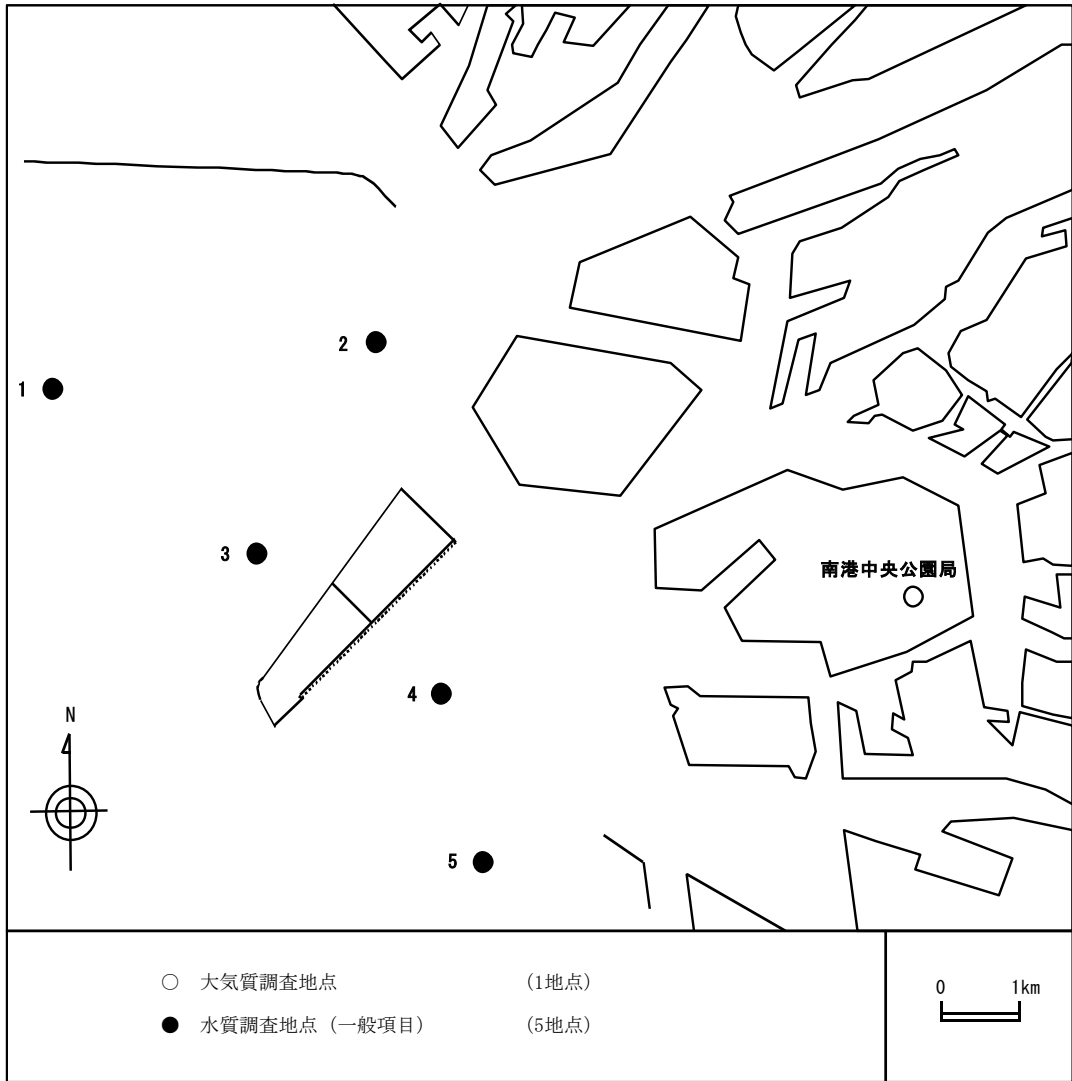
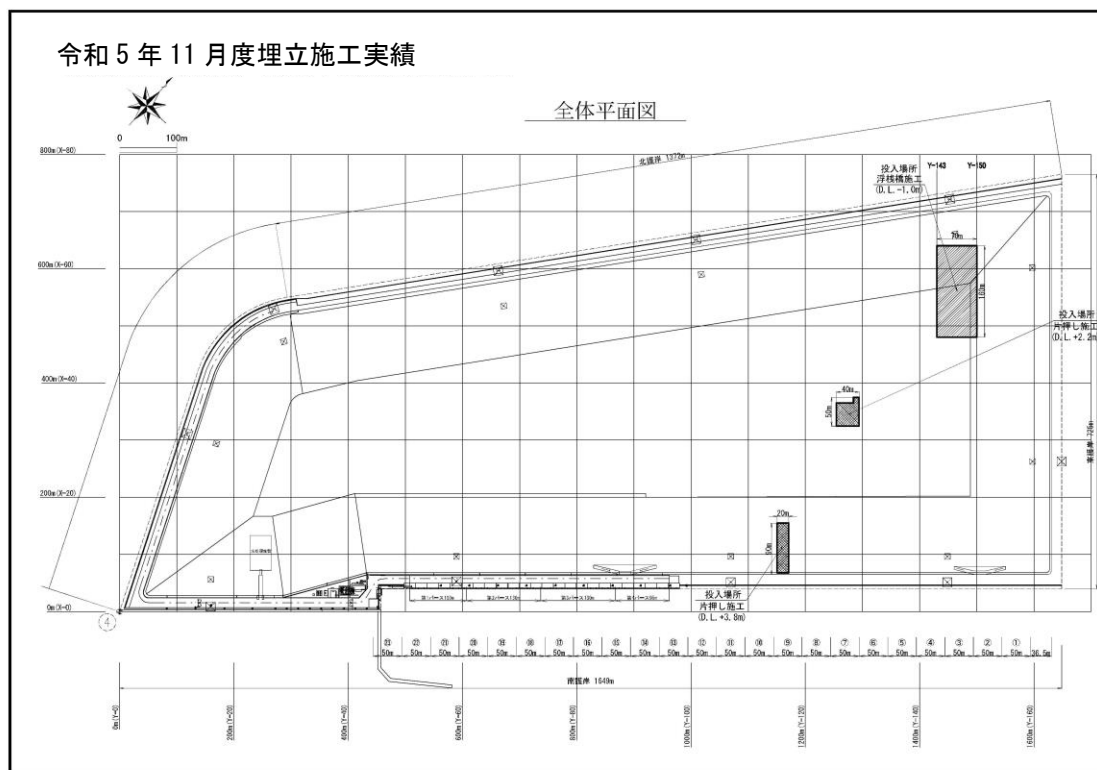


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和5年11月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
7,372,836	52.8%

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.006ppm、1時間値の最高値は 0.010ppm であり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.023ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.041ppm であり、環境基準値の範囲内であった。なお、日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内の基準適合が 2 日あった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup> 以下、1時間値 0.20mg/m<sup>3</sup> 以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.016mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.034mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は 0.062mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.0～8.1、下層でいずれも 8.1 であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.2～3.7mg/L、下層で 2.1～2.7mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 4 (3.7mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.8～8.5mg/L、下層で 7.4～7.9mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

###### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.41～0.94mg/L、下層で 0.18～0.25mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環

境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.61mg/L)、調査地点 2 (0.77mg/L) 及び調査地点 4 (0.94mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.056~0.14mg/L、下層で 0.036~0.043mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.096mg/L)、調査地点 2 (0.099mg/L) 調査地点 3 (0.056mg/L)、調査地点 4 (0.14mg/L)、及び調査地点 5 (0.071mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 6) 濁度

濁度は上層で 1~3 度(カリン)、下層でいずれも 1 度(カリン) の範囲であった。

#### 7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 1~4mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~3mg/L の範囲であった。

#### 8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 0.7~1.9µg/L、下層で 1.1~2.0µg/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調査結果





大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [令和5年11月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和5年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.005	0.007
	2 (木)	0.006	0.009
	3 (金)	0.005	0.008
	4 (土)	0.005	0.006
	5 (日)	0.004	0.006
	6 (月)	0.004	0.007
	7 (火)	0.004	0.005
	8 (水)	0.005	0.006
	9 (木)	0.005	0.008
	10 (金)	0.004	0.004
別	11 (土)	0.004	0.004
	12 (日)	0.004	0.006
	13 (月)	0.003	0.004
	14 (火)	0.004	0.006
	15 (水)	0.004	0.007
	16 (木)	0.004	0.006
	17 (金)	0.003	0.004
	18 (土)	0.003	0.004
	19 (日)	0.004	0.005
	20 (月)	0.004	0.005
値	21 (火)	0.005	0.006
	22 (水)	0.005	0.009
	23 (木)	0.005	0.010
	24 (金)	0.004	0.006
	25 (土)	0.003	0.003
	26 (日)	0.004	0.005
	27 (月)	0.005	0.007
	28 (火)	0.004	0.005
	29 (水)	0.004	0.009
	30 (木)	0.004	0.005
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.006	
1時間値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和5年11月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.010	0.046
	2 (木)	0.015	0.082
	3 (金)	0.003	0.013
	4 (土)	0.003	0.012
	5 (日)	0.001	0.003
	6 (月)	0.007	0.025
	7 (火)	0.002	0.007
	8 (水)	0.009	0.041
	9 (木)	0.009	0.034
	10 (金)	0.011	0.040
	11 (土)	0.002	0.006
	12 (日)	0.002	0.006
	13 (月)	0.003	0.008
	14 (火)	0.021	0.093
	15 (水)	0.017	0.058
別	16 (木)	0.018	0.077
	17 (金)	0.003	0.012
	18 (土)	0.002	0.007
	19 (日)	0.000	0.001
	20 (月)	0.002	0.006
	21 (火)	0.028	0.064
	22 (水)	0.035	0.112
	23 (木)	0.022	0.056
	24 (金)	0.008	0.046
	25 (土)	0.001	0.003
	26 (日)	0.002	0.010
	27 (月)	0.035	0.076
	28 (火)	0.024	0.136
	29 (水)	0.017	0.122
	30 (木)	0.002	0.008
有 効 測 定 日 数 (日)		30	
測 定 時 間 (時間)		717	
月 平 均 値 (ppm)		0.010	
日平均値の最高値 (ppm)		0.035	
1時間値の最高値 (ppm)		0.136	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和5年11月分]

測定局		南港中央公園			
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)	
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		
日	1 (水)	0.036	73.6	0.079	
	2 (木)	0.056	72.4	0.126	
	3 (金)	0.030	90.7	0.048	
	4 (土)	0.029	90.6	0.051	
	5 (日)	0.016	96.4	0.029	
	6 (月)	0.034	80.4	0.069	
	7 (火)	0.013	85.1	0.030	
	8 (水)	0.034	72.7	0.085	
	9 (木)	0.041	77.9	0.069	
	10 (金)	0.041	73.9	0.080	
	11 (土)	0.013	88.4	0.023	
	12 (日)	0.014	88.7	0.027	
	13 (月)	0.016	82.5	0.031	
	14 (火)	0.048	56.0	0.130	
	15 (水)	0.046	63.5	0.098	
別	16 (木)	0.047	61.4	0.113	
	17 (金)	0.019	85.7	0.049	
	18 (土)	0.007	71.6	0.017	
	19 (日)	0.007	96.6	0.025	
	20 (月)	0.015	86.9	0.024	
	21 (火)	0.064	56.9	0.117	
	22 (水)	0.076	54.1	0.145	
	23 (木)	0.061	64.1	0.116	
	24 (金)	0.026	70.5	0.088	
	25 (土)	0.008	90.9	0.013	
	値	26 (日)	0.018	87.7	0.046
		27 (月)	0.074	52.3	0.111
		28 (火)	0.046	46.7	0.173
		29 (水)	0.037	54.1	0.166
		30 (木)	0.015	83.6	0.026
有効測定日数 (日)		30			
測定時間 (時間)		717			
月平均値 (ppm)		0.033			
日平均値の最高値 (ppm)		0.076			
1時間値の最高値 (ppm)		0.173			
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		68.5			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$(\text{NO} \text{ 及 } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) /$$

$$(\text{NO} \text{ 及 } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和})$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和5年11月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (水)	0.021	0.030
	2 (木)	0.027	0.040
	3 (金)	0.034	0.047
	4 (土)	0.034	0.052
	5 (日)	0.027	0.050
	6 (月)	0.012	0.033
	7 (火)	0.014	0.020
	8 (水)	0.012	0.017
	9 (木)	0.018	0.030
	10 (金)	0.013	0.018
別	11 (土)	0.005	0.008
	12 (日)	0.009	0.013
	13 (月)	0.004	0.008
	14 (火)	0.009	0.023
	15 (水)	0.016	0.036
	16 (木)	0.020	0.057
	17 (金)	0.008	0.013
	18 (土)	0.005	0.008
	19 (日)	0.012	0.019
	20 (月)	0.010	0.014
値	21 (火)	0.014	0.029
	22 (水)	0.022	0.035
	23 (木)	0.026	0.037
	24 (金)	0.020	0.044
	25 (土)	0.003	0.006
	26 (日)	0.010	0.021
	27 (月)	0.026	0.062
	28 (火)	0.020	0.050
	29 (水)	0.013	0.031
	30 (木)	0.008	0.017
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.016	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.034	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.062	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和5年11月分]

測 定 局		南港中央公園			
項 目		風 速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (水)	0.8	1.8	WSW	WSW
	2 (木)	0.6	1.3	WSW, SW	E, W
	3 (金)	0.5	1.4	WNW	WNW
	4 (土)	0.7	1.5	ESE	ESE
	5 (日)	0.7	1.9	W	NNE
別	6 (月)	1.0	2.2	SE, ESE	E
	7 (火)	2.3	4.1	WNW	WNW
	8 (水)	0.8	1.5	ENE	NNE
	9 (木)	0.6	2.0	WNW	NNE
	10 (金)	0.6	2.2	N	NNE
	11 (土)	1.2	2.0	NNE	NNE
	12 (日)	1.2	4.2	WNW	WNW
	13 (月)	1.5	4.5	WNW	NW
	14 (火)	0.9	2.6	W	WSW
	15 (水)	0.7	1.8	ESE	ESE
値	16 (木)	0.7	1.4	ESE	ESE
	17 (金)	1.6	4.8	W	WNW
	18 (土)	3.3	5.0	WNW	WNW
	19 (日)	1.8	3.3	WNW	WNW
	20 (月)	1.4	2.3	WNW	WNW
	21 (火)	0.6	1.1	E, WNW	E
	22 (水)	0.5	1.3	SE, SW, W	WSW
	23 (木)	0.5	1.6	WSW	NW
	24 (金)	2.0	4.1	W	WNW
	25 (土)	1.2	2.2	WNW	NW
	26 (日)	0.6	1.6	WSW	E
	27 (月)	0.7	2.2	ESE	ESE
	28 (火)	1.6	3.5	WNW	WNW
	29 (水)	1.4	4.3	WNW	WNW
	30 (木)	2.1	4.0	WNW	WNW
測 定 時 間 (時間)		720			
月 平 均 風 速 (m/s)		1.1			
月 最 大 風 速 (m/s)		5.0			
月 最 多 風 向 (16方位)		WNW			

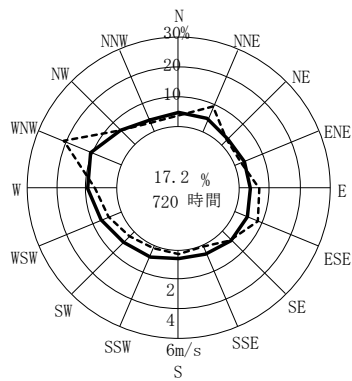
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

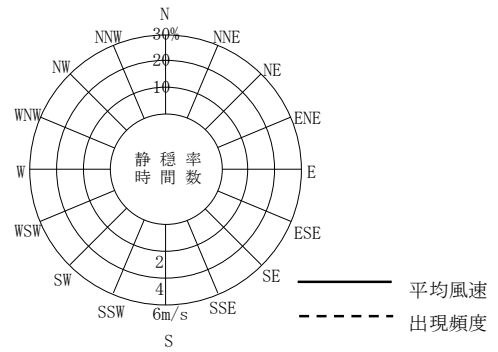
風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和5年11月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	66	18	16	46	58	28	5	10	6	16	33	50	145	50	23	26	124	720
頻度 (%)	9.2	2.5	2.2	6.4	8.1	3.9	0.7	1.4	0.8	2.2	4.6	6.9	20.1	6.9	3.2	3.6	17.2	-
平均風速 (m/s)	0.9	0.6	0.7	0.7	0.9	0.8	0.6	0.6	0.8	1.0	1.4	1.9	2.2	1.3	0.8	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



凡例



注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和5年11月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和5年11月分]

調査日：令和5年11月21日

項目	調査点						最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		8:18	7:53	8:33	10:22	10:36	-	-
透明度	[m]	3.7	2.8	4.5	1.9	3.0	1.9 ~ 4.5	3.2
水温	[°C]	16.4	17.4	17.2	15.8	16.4	15.8 ~ 17.4	16.6
		18.7	18.1	18.3	18.9	18.4	18.1 ~ 18.9	18.5
塩分	[-]	27.3	27.6	29.7	24.0	29.8	24.0 ~ 29.8	27.7
		32.1	31.8	32.0	32.3	32.0	31.8 ~ 32.3	32.0
濁度	[度(カリン)]	1	1	1	3	2	1 ~ 3	2
		1	1	1	1	1	1 ~ 1	1
浮遊物質 (SS)	[mg/L]	2	1	2	4	4	1 ~ 4	3
		2	<1	1	3	1	<1 ~ 3	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]	8.0	8.0	8.1	8.0	8.1	8.0 ~ 8.1	-
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1 ~ 8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	2.6	2.9	2.3	3.7	2.2	2.2 ~ 3.7	2.7
		2.5	2.3	2.1	2.7	2.3	2.1 ~ 2.7	2.4
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.0	7.8	7.9	8.4	8.5	7.8 ~ 8.5	8.1
	飽和度 [%]	97	96	98	98	104	96 ~ 104	99
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.61	0.77	0.41	0.94	0.42	0.41 ~ 0.94	0.63
		0.23	0.25	0.18	0.18	0.20	0.18 ~ 0.25	0.21
全磷 (T-P)	[mg/L]	0.096	0.099	0.056	0.14	0.071	0.056 ~ 0.14	0.092
		0.040	0.043	0.043	0.039	0.036	0.036 ~ 0.043	0.040
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	0.9	0.7	1.4	1.9	1.0	0.7 ~ 1.9	1.2
		1.4	1.1	1.1	2.0	1.9	1.1 ~ 2.0	1.5

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------